

は し が き

学問に王道なし、「受験に王道」あり。

受験対策書といってもいろいろな書籍が出版されていますが、本書は「合格すればOK」というアプローチで書きました。

しかし、本書は2次試験突破、最終合格を視野に入れ、「本質」が理解できるようにも説明しています。

特長1 試験に出る問題を重視

証券分析の試験問題は大問全6問(6分野)で出題されています。分野ごとに
出題されるパターンが決まっています。問題を解くためには、基礎的用語の
理解が肝要です。説明分量は多くなりましたが、読んで分かるをモットーに
「やさしく説明」し、「設例問題」で理解力が確認できるようにしてあります。
読むだけでは合格できません。「設例問題」をパーフェクトにトレーニングす
ることです。

特長2 暗記すべき公式

特に、毎回のように出題されている重要な項目、式には「暗記すべき公式」
として、何を学習すれば合格できるのか学習目標を明確にしています。

特長3 ビジュアルに説明

用語・公式をそのまま記憶するのはなかなか大変です。短期間に合格に必要な
知識を「確実に記憶」するには、図や表(映像によるイメージ)の形式で整理
されたビジュアルな知識を暗記する以外にありません。

兎に角「合格すればOK」をコンセプトに初めて学習される方であっても必ず
「合格」できるよう「やさしく説明」しております。

また、第一問で出題される「証券市場の機能と仕組み」及び第二問の「ファン
ダメンタル分析」で出題される「産業分析と企業分析」については、本書の
巻頭にある申込書を郵送して頂ければ小冊子をご送付させていただきます。

拙書が受験生の皆様の合格の一助になれば幸いです。